

# ひかりのこ

6月園便り

聖ミカエル幼稚園

2013年5月24日発行

## 月主題：たのしい発見

6月に入り、花が咲き、緑があふれ、虫などの小動物も活発に動き回るようになってきました。子どもたちにとっては葉っぱもダンゴ虫も大好きなお友達。自然にたくさん触れながらたくましく、やさしく大きくなって行ってほしいものです。そして、日々の遊びの中で、お友達と仲良く遊ぶ力や、自分の思いを伝える力を身につけて行ってほしいものです。

5月20日から保育参観が始まりました。お父さん、お母さん方が先生と一緒に保育を行い、クラスの様子や、子どもたちの様子を肌で感じることができます。参加されたお母さま方はどの方も細やかに子どもたちを見てくださっています。たくさんの方に見守られて子どもたちが育つ環境は子どもたちにとってとても大切です。「自分は愛されている、守られている。」という安心感の中でのびのびと成長できるからです。

聖ミカエル教会の方達も、幼稚園の子ども達を大切に思ってくださいています。安全にお外遊びができるように草を刈って下さる教会員の方たち。年5回の「仲良しランチ」では教会の婦人会の皆さんが温かくておいしいお料理を作ってくださいます。運動会、おゆうぎ会などの行事にも来てくださり、あたたかい目で子どもたちを見守ってくださいます。

また、3月の父の会に初めて参加されたお父さんが、父の会の雰囲気が大変気に入ってくださったお話や、子育ての悩みをお母さん同士でアドバイスしているお話もよく聞きます。お父さんお母さん同士が仲良くなって、みんなでみんなの子ども達を育てていこうとする雰囲気があるミカエル幼稚園の父母の会は実に成熟していると感じます。子どもがいるからこそ経験できるお父さん、お母さん同士のつながり。今しか経験できないこの良いつながりを大切にしていきたいと思えます。そして、みんなで子育てを楽しみましょう。

園長 渡部 良子

## キリスト教保育

『主なる神は言われた。「人が独りでいるのは良くない。彼に合う助ける者を造ろう。」…そして、人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた。主なる神が彼女を人のところへ連れて来られた。』(聖書、創世記から)

神様は人が独りでいるのは、良くないと思われる方です。これは、独身生活が望ましくないという意味ではなく、人が一人ぼっちになって、さびしく孤独に過ごすことは神様の喜ばれることではないと言う意味です。ですから神様は、人に合う助ける者を造り、人のところへ連れてきてくださいました。これが結婚の始まりです。神様は、人を造られ、そして、その人に合う助ける者を造られ、その二人を合わせてくださり(結婚)、この二人によって新しい世界(家庭)が始まるようにして下さったお方です。これが家庭(家族)の始まりです。結婚と家庭とは、天と地とを造られた創造の神様によって始められた、神様のアイデアです。ですから、私たちは、結婚と家庭について、神様から学ばなければ行きません。神様は結婚と家庭とを造られた当事者(専門家)だからです。

聖書には、次のような言葉があります。『あなたがたの中で知恵の欠けている人がいれば、だれにでも惜しみなくとがめだてしないでお与えになる神に願いなさい。そうすれば、与えられます。』

来る6月4日の10:00から11:30まで、『聖書から学ぶ、結婚と家庭をより豊かにする知恵』について語り合う、分かち合いの一時を持ちます。きっと何かを見つけるかも知れません。関心のある方はどうぞ、ご参加ください。

チャブレン 司祭 ジョシュア 李 香男